

Narromine News 2014

Matsu 300km Shinzo in Japan WinterSession Narenkai

2014, 11, 23 Matsuさんの300km Report !

Shinzoです。10月にNimbus で3フライトしてますが、3回とも10,000f以上でした。

今シーズンのNarromineのエマグラムの傾向は、

下層の風~10,000feet 高温、Dry(サーマル高い)。

中層の風10,000f~20,000feet普通、Dry、20k以上(逆転層がハッキリ)。

高層の風 20,000feet~ 高温、Wet、40k以上(Cirrus)。

なのでサーマル高度は高いですが強さは並みです。

高いけどブロークンなサーマル、10kもあり4kもあり、平均5kのRegもあり、平均3kのRegもありでベテラン向き。

でもNarromineでは6時間かけて初300kmが11月にもう2件でした。

そのMatsu さん レポートしてくれました。

初300Kmフライトレポート Matsu



11月21日ナロマイン、ニンガン、トミングリーの308Km三角タスクを達成しました。

11月16日にナロマインに入り、その日は慣熟で2H、CUコンディションで快適だったがその後は気温が27度~30度と低くブルーコンディションで上手く飛ばず、特にサーマリングが難しく、トミングリー、ピークヒル、ギルガンドラを目指しても途中で沈下帯にはまり引き返すのが3日続きグッドエアー、バッドエアーの選択をしているのに、今回の遠征はなんて運が悪いんだとへこんでいた。

21日朝のウェザーブリーフィングにて、風は西風15kt、気温38度予想、今日は高度8000~9000ftでCUが期待できるが、サーマルの発生時間は12時から始まり18時には弱くなる見込みで特に南側が早くサーマルが弱くなる見通しと私の技量では時間的に余裕が無さそうであった。

12:23に離陸もまだブルー、高度が取れずスタートが13:20となり焦っていた。トミングリー到着が14:30、しかしこの頃からCuが出始め9000ftまで上がる。次のネバータイヤーでは10300ftになり、ニンガンを目指す。高度に余裕が出来てくると周りもよく見えるようになってきた。

ニンガンまで60km、しかしコース上にCuは無く、遠く南側に発生しているここまで来たのにとメゲそう。

開きなあって、まずバリオを気にせず、尻センサーと風音を頼りに目標に向かうと、不思議と大きな沈下に入らず、それどころか殆ど高度を落とさず30km進んだ。

面白い事にそうやって飛んでいるとチョコチョコ1~2のプラスにあたる確率が増えていった。

ニンガン手前15kmで高度が8000ftとなりヤキモキしたが小さな雲を発見、+2を掴み少しづつ強い方へよせ+5で10300ftまで上がりニンガンクリア16:10、時間が... ニンガンからトミングリーまで149km、今度は追い風に乗って結構早く進む、ネバータイヤーまでも往きのように高度を保ち9000~10000ftをキープできた。

こうなると進むことが楽しくなってくる。トランギーで9000ft、トミングリーへ機種を向け時間も遅くなってきておりCuがあるもサーマルが弱くなってきた。トミングリー15km手前で7000ft、このままではクリアしてもナロマインに帰れない。

でも気流による機体の動きを感じながら行くと弱い+1~+2を捕まえ、全周は入れず苦労したが徐々に強くなり+3で9000ft、トミングリーを目指し7200ftでクリア、帰りをみるとナロマインが遥か遠く、且つ低い、計算上ではグライド出来る筈だが、お尻がムズムズする。

ナロマインまで道のりもバリオ気にせず届くと信じグライドし3000ftでゴールした。

こんなに低い高度で40kmも真っ直ぐ飛ば大変感動した。

やっと信三さんの言っていた、グッドエアー、バッドエアーが分かった気がします。

翌日、ブルーでしたが、トランギー、ネバータイヤー、ナロマインの140kmタスクを組んで飛んだが、うそのようにクリア出来た。

特にトミングリー手前20kmで6600ftまで落ちてしまったが、あいにく雲の影だったがグッドエアーを選びながら進んでいると+0.7で回れだし、10000ftに上り、9000ftでクリアした。

もちろんナロマインまでは余裕綽々だった。

300km所要時間6+13、とっても疲れたが気持ちのいい達成感を得られた。

今回のナロマイン遠征でまた一歩ソアリングに近づけたと感じています。以上

...と書いて信三さんに読んでもらった、次のタスクがないと言われてしまった。当然次は500kmにチャレンジだ。500km飛ぶには、初300Kmの平均速度56km/hだったのを80km/hにしなくてはならない。

その為には、

①サーマリング技術をアップし、今回の平均1.3m/sを2m/sにしなくてはならない。

②インターサーマル間の速度を80ktにする。

③高度管理(①が出来ると益々楽になる)をしっかりとる。

今回は300Kmチャレンジの為、自前でIGC GPSロガーCOLIBRI2を購入し持参したが、これの操作に慣れるのに苦労した、結果これに注意を奪われ飛んでいる間回りが見えなくなってしまっていた。事前に十分に使いこなしてから来なくてはならなかった。

そんな事もあり、初めの数日をGPS習熟の為に使ったのは勿体無かった、

電子機器は大変便利だがこれに振り回されては元も子もなくなるといういい経験をさせられた。

サーマリング技術もそうで、どうしてもプラスに当たると言ってしまう。これは犬棒式だ、周りを良く見て風を感じる、音を聞くことGを感じることでサーマルの方向が分かるようになった、大変な収穫だ、20年近くグライダーをやってきて、今頃こんな基本的なことを理解するなんてがっかりだが、ただ頭でわかるのと体感出来るのでは大違いでした。

これまで分かってなくて、今回7日間29時間飛んで得ることが出来たのは本当に大きな収穫でした。しかしホントしんどかった、でもヤッタゼ！感謝！

IGCデータはこちら→[IGC Data](#)

2014, 11, 14 **Visitor Report !**

Shinzoです。地球温暖化でこちらは高温。今日は39度、明日は41度予報です。11月のVisitors3人組み。それぞれTask達成。Badge 300km達成のNatsuさんがレポートを寄せてくれました。SeeyouデータもOLCにUPしてます。ご覧下さい。



300km達成！友人二人に迎えられる

NATSUです。普段は岐阜県の大野グライダークラブで飛んでいます。3年連続で2014年もソアナロメインに同じクラブのHawkとMarineと共にお世話になりました。

フライトの予約をした9日中8日飛べるという天候に恵まれましたが、ブルーの日が多く去年Cuコンディションで初50kmを飛んだ私にはなかなかNarromineを離れられない日が続きました。

滞在日数が少なくなってきて焦る私にSHINZOさんから「スマイルを忘れない！」「ブルーの方がCuより飛びやすい」「今日が初日だと思って(焦らないで)飛ぶ事」とのアドバイス頂きDAY7を迎えました。

DAY7もブルーコンディション。しかし夕方までサーマルが続く予報だったので「タスク達成をあせらず行けるところまで行ってみよう」と飛行場のすり鉢を一つ一つ移しながら飛び(最後はアウトランディングを覚悟する局面もありましたが)、なんとか300kmタスクをコンプリートすることが出来ました。

夜のシャウトでSHINZOさんから「普通は初300kmはこんな気象条件ではトライしないんだけどね」と言われた時はみんなで大笑い！今年もとても勉強になり、グライダーの楽しさを教えて頂いた滞在となりました。

2014, 08, 24 **Soar Narromine恒例 Winter session Reportスタート！** [Reportはこちら](#)

2014, 08, 01 **GFA Membership 登録をされる方へ**

オーストラリアで飛ぶためには、オーストラリアのグライダー協会GFAの Membership 登録が必要です。最近この登録がwebでできるようになりました。

入力がちょっと複雑ですので、ガイドページを作りました。Soar Narromineで飛ばれる方はこちらをご利用ください。 → [GFA Membership登録方法はこちら](#)
[会費等のお知らせはこちら](#)

2014, 07, 01 **2014年下半期・イベントカレンダーと、今シーズンの料金表発表！**

イベントカレンダー

Winter Session : 8月、9月
 Narromine Cup : 11月第3週～4週
 Jr. National (PreWorld): 12月1～12日
 20m National : 2015年2月
 Narenkai : 3月

今シーズンの料金表はこちら→[Price List](#)

2014, 05 Shinzo in Japan for special coaching !

ナロマイン・シーズンオフの時期、今年もShinzoは日本を訪れ、各地でアドバンストレーニングの講師を務めました。

大野



Report from 夏目匠さん

4月のアドバンストレーニングで最も印象に残っているのはピクチャリングで、その後も空を見ては大気の状態をイメージする癖がつきつつあります。

また、リフトへのアプローチという点では、「場周コース付近を飛んで、その経路上でヒットすればラッキー」という思考回路から脱却して、「少しでもサーマルのある可能性が高い場所へ向かう」という考え方に変わることができたのは大きかったと思います。

これらは普段の大野や木曾川のフライトでも実践できることであり、また、フライトをより楽しいものにするコツでもあると感じています。

おかげさまで、その後の大野ローズカップでは、団体戦で3位入賞できました！また、気持ちの面でも、フライトを再開して間もないタイミングでしたので、ソアリングの面白さを再認識できて、その後の活動に弾みがつきました。今回のアドバンストレーニングでは、信三さんのお話を通して、状況の見方や考え方を学ぶことができたのが大変有意義だったと思います。

今後ともよろしく願いいたします。

PS 座学で大野の立地のお話をされていたのが印象に残っており、その後立体地図を購入しました。空気の流れをイメージしながら見ると面白いですね。

関宿



板倉



久住



2014, 04, 01 **第3回2014 NARRENKAIレポート 掲載!**

Soar Narromineの恒例行事、NARRENKAIの第3回が開催され、レポートが届きました。ご覧下さい！ → [2014 NARRENKAI REPORT](#)

2014, 02, 09 **2013 Narromineレポート from Matsu掲載!**

昨年11月、ナロマインでのフライトを満喫された松本昌昭さんからレポートが届きました。ご覧下さい！ → [Narromine Report from Matsu](#)

2014 Winter Session Report

＊ ＊ 日付は新しいものから表示されています。下から読むと順番通りです ＊ ＊

2014, 09, 12 Soar Narromine Winter session Report Day22

どうも、Kumamonです。



本日は、滞空時間1+03のフライトで、昨日と同様に「楽しむ」ということをtaskにしていました。今日のテーマは「Day1」だったのですが、上空で景色を見ていると、二週間で確実に“変わった”ということを実感しました。旋回の際の景色の見え方がまったく違い、視野が広くとれていることをひしひしと感じました。Shinzoさん宅もきれいに見え、いつかの雪辱も見事に晴らすことができました。とっても楽しい時間でした。こんな経験をさせてくれたみんなに、心の底から感謝です！ 以上、Kumamonでした。

みなさまこんばんは、PHOTONです。
本日最終日の最終フライト前にしてやっとな一人前のパイロットとは何かを理解できました。答えを待つのではなく、後席の教官を気にすることなく自分で考え自分の言葉で自分で答えを出す。当然のことですが一人前のパイロットは自分ひとりで意思決定を行います。

まだまだ未熟ですが、日本でも自分が訓練生かつ教官のつもりで精進します。そうそう、今日理解した後のフリーフライトで顔つきに余裕が出たと二人に言われました。これも大きな変化かな？それでは皆さんごきげんよう

お久しぶりです、Ichiroです。

一人前のパイロットになるためには、自分に何が足りなかったかを知る一日となりました。航空機を安全に運航するための判断を自らの力で下すこと、これに尽きますね。

最終日が近づくにつれて操縦テクニックばかり追っていましたが、原点に立ち返ることができて本当に良かったです。先にお伝えしたように、Shinzo邸出発から羽田空港到着まで私がリーダーとなりますが、今日学んだことを第一に皆の安全を考え行動します。Thank You For Reading !

2014, 09, 11 Soar Narromine Winter session Report Day21



Kumamon

お久しぶりです、実は最近いろいろと悩みがありまして、それで少しばかり挫折というものを味わっておりました。これがなかなか難しいもので、考えれば考えるほどに深みにはまってしまうというスパイラルに陥りまして…。ですがもう大丈夫、Kumamonは見事に復活を遂げました。グライダーの楽しさを思い出したのです。仲

間にいろいろと言葉をかけてもらい、ようやく思い出せたこの感情、最高です！というわけで本日、滞空時間1+05のロングフライトとなりました。景色を見て、体で昇降を感じ、Makiさんの連続サーマル旋回で少し酔ったり、などと非常に楽しむことができました。旋回している時に目標を目で追うと、横じゃなくて斜め上を向かなければならないんですよ。傾いてるから。今まで気付かなかったこのようなことが、しっかりと楽しみとして自分の中に入ってきました。本当に楽しかったです。これが、私が最初に感じていたグライダーの楽しみなのだ、と気づき、視界が晴れた思いです。上空で実際に視界が広く見えたのは、おそらく気のせいではないでしょう。さて、気づけばこの遠征も二日を残すのみとなってしまいました。びっくりです。長かったのか短かったのか今良く判りません。ですが、ここで得たものはとても多いです。仲間との……つって、何かもうまとめに入っちゃいそうな感じで書いてますね私。違いますからね。まだ終わってないし、これからだって学ぶ事は大いにあるわけです。そのことを忘れずに、最後までしっかり楽しみぬく。それが私のtaskでしょう！

そういうわけで、精神的にも一皮むけたKumamonより、9月11日(現地時刻)のデイリーレポートをお送りしました。それではみなさん、また今度！シーユー！

Makiです。

本日の収穫を報告します。Image Operation Review を昨夜も実施し、Operation OKの心算でしたが、本日もShinzoさんから色々アドバイスを受けました。一事例として、今日の最終フライト者のスケジュールが正確に頭に入っていないでした。これは、練習生の立場で考えていない証拠ですね。先日も書きましたが、ナロマインの基本方針(憲法ですね)は頭では理解しているのですが、実施施策(=行動)が伴っていません。その為に、Image Operation Reviewなのですが、もっと具体的にReview(例えば行動予定表を見ながらシミュレーション)を実施する等が必要です。

何度もReviewを繰り返してInst.の行動指針を自分自信に身に付けることが課題です。そうすれば、練習生に背中を見せる事が出来る様になると思います。まだまだ、色々アドバイスを受けますが、Positiveに考え、今後も、繰り返しつこくReviewを実施して行きたいと思えます。

2014, 09, 10 Soar Narromine Winter session Report Day20



Photon (熊大 牟田鴻志)

皆様こんにちは、Photonです。私のフライトは今日一番目と二番目でした。昨日はノーフライト(寝室と庭では飛んでいましたよ!)だったから、イメトレの成果を出そうと気合を入れていました。風はほぼ正対風、7ノット。この上ない条件です。正直言ってかなり燃えていました。しかし、この燃えっぷりが裏目に出て一発目の飛行機曳航が上手くいかずふらふらと蛇行してしまいました。いつもならあそこまで酷くなることはないです。これは残念でした。また同じ理由で一発目の着陸後地上滑走も上手くいかず、停止後本当に悔しくてたまりませんでした。

しかしそれでも二発目までに頭を切り替えることが出来ました。これは大きな収穫です。飛行機曳航、そしてその後のチェックポイント通過から第四旋回までは自分史上最高の出来でした。しかしファイナルアプローチからの出来はいまいちでした。力不足です。

でもやるべきことは今日のフライトではっきりとわかりました。やるべきことが分かったので後は早いです。今から庭で飛んでまいります。それでは皆様ごきげんよう。

Makiです。

昨夜Image Operation Review を寝る前に1時間実施し、本日のオペレーションに臨みました。新たな収穫がありました。Operationには文字通りのグライダーを飛ばすための共同作業とFlightのInstruction(但し、ナロマインでは生活も含め全てがFLTに繋がっています)があります。

まず、飛ばすためのOperationに関しては、Reviewのお陰で非常にスムーズに迷いなく実施出来る事が実感出来ました。Reviewの効果大です。

Instructionですが、練習生の課題に対するインストラクション(何が出来ない原因かを見つける)が出来たと感じます。

まだまだLearning ProcessのInst.ですが、Image Operation Reviewの効果をまずは実感した次第です。

2014, 09, 10 Soar Narromine Winter session Report Day19

Makiです。

本日は強風のため、No Hanger Open Day でした。お陰様で、Shinzoさんと半日ゆっくり話すことが出来ました。結果、大収穫として、Image Operation Review 実施の重要性に気がつきました。

私はナロマインの基本方針は知識としては理解していたのですが、夜は単なるリラクゼーションで過ごし、Shinzoさんからも早く寝ろ(=ベッドの中でReviewしろ)と再三言われていたにも拘わらず、Image Operation Reviewを全くしていない状態でした。結果、今回はミス連続でした。そこで、本日、Shinzoさんとじっくりと話をし、基本方針を実施施策にするための話し合いをし、Image Operation Reviewを実施すれば問題発生の本根対策になると気がつきました。ミスの構造が解りました。

Shinzoさんでも毎日1時間はReviewを実施しているそうです。私はその何倍も実施しないといけないと思います。また、Inst.は情報を発信するのではなく、練習生に受信させると言う意味が解って来ました。その為、彼らの言動をつぶさに注意深く観察し、心にまでは入っていく事が重要だと理解しました。明日はしっかりしたインストラクションで、満足出来るレポートが出来る事と思います。どうぞご期待ください。

Ichiroです。

本日は強風のためノーフライトでしたが、私にとって非常に重要な一日となりました。Day12を迎えるに当たり、Shinzo邸から羽田までの帰路におけるリーダー決めを行ったのですが、問題が発生します。というのも、我々九州チーム3名は全員未成年なのです(学生のみでの移動)。これまでの生活から見てきた各人の性格から私が選出されました。失敗が許されない(ShinzoさんもMakiさんもしませんから)状況に萎縮してしまいましたが、Shinzoさんから「ここでやってみることいいんだよ」といわれリーダー像が明確になりました。具体的には、メンバーの動きを見て声をかけること、次に何をすべきか先読みをすること、万一のときにはShinzoさんに判断を仰ぐこと(電話がつながる事も確認)、そして、それらを態度で見せることです。全てがマネジメントですね。

予行演習をかねて近所のスーパーへ買い物にいきましたが、問題もなく一安心です。明日の予定表を書いたり、ミーティングの議長をしたりと、経験も増えています。これからもリーダーの練習は出来るのでメンバーがなにを考えているかまで踏み込めるようになります。それでは、また。

2014, 09, 09 Soar Narromine Winter session Report (Day16 帰国編)

Shinです。

皆様こんにちは。クマQのみんな、お元気ですか。みんなのデイリーレポート楽しく読ませてもらってます。今回はケセラセラチームのナロマイン遠征最終日(day16)～帰国後のレポートをお届けいたします。

こんにちはYasuです。

Day16は帰国がメインタスクでした。そして、僕はここで飛んでいる間だけでなくこの合宿の最初から最後までがフライトだということを試されているかのような体験をしました。

羽田空港に無事到着して預け荷物を受け取ろうとしたところ、自分の荷物が出てこなかったのです。まさかとは思いますが、こういう事態を想定してはいたため、合宿最後のオプション実行(係員の方に問い合わせただけですが)となりました。幸

い中継地に取り残されていただけだったようで、一日遅れで中身も無事に我が家に到着しました。いい経験になりました。
熊九チームのみんながこのようにならないよう祈ってはいませんが、最後までフライトだということを忘れずに残りの合宿も有意義なものにしてください。

こんにちは、Shuntaです。
関東は曇りで過ごしやすい気候です。ただ湿度と水の味がオーストラリアと違うのが新鮮です。湿度低いのはお肌によくはないけど、以外と過ごしやすかったんだなあ。くまきゅーグループのみんなも相変わらず元気に過ごしてることと思います。トレーニング、楽しんでね！！あとオーストラリアの自然はなかなか味わえるものではないと痛感している今日この頃です。
それでは、Good luck!!

MINOです
ようやく日常の生活に慣れて来ました。ところで、嬉しいニュースが今日本で話題になっていきます。錦織圭選手がUSOpenで準優勝しました。
そのコーチであるマイケルチャンコーチは錦織選手に徹底的に基本を教えこんだそうです。世界のトッププレイヤーが、です。このニュースを聞いて、ナロメインで学んだことと共通するところがあるなど心の底から思いました。もしかしたら、自分はまだまだ十分に基礎ができていなかったのかなと反省するところもあります。
熊九のみんなに伝えたくて書きました。残りの日々も楽しんで。Good luck!

2週間も毎日ハーネスしてたからか、帰りの旅客機のシートベルトがやけに心細く感じました、Ralphです。
その感じで、帰りの飛行機とか、移動中の電車でも、フライトの事を考えるようになりました。なにかちょっとしたことでも、グライダーに結びつけて考えてみたり。これまでにはなかったことです。ナロメインでは、もちろん、その時々のフライト、翌日のフライトの事は考えているでしょうが、その後の、帰国してからの日本での礎を作ることも大切だと思いました。Kuma-Qの3人なら簡単にできると思います。ナロメインでのことだけでなく、その後の日本での事も考えてやってみるといいと思います。それではこれからも楽しんで。

Shinです。
ナロメイン～ダボ間の車の中では外を眺めながらナロメインとのしばしの別れを惜しんでいました。こんな素晴らしい場所でまた飛びたい！ってすごく思いました。シドニー空港ではお菓子(主にティムタム)をたくさん買ってオーストラリアを後にしました。個人的にユーラシア大陸初上陸@香港空港では中華料理(ラーメン)を食べました。まあまあ美味しかったです。でも出発まで結構待ち時間が長く、直前までお店も空いていないからちょっと暇かも。シドニーで飲み物買っておいの方が良かった。
そして羽田に無事到着し、最後の最後にYasuの荷物のトラブルがあったものの、メンバーみんな元気に帰国出来たことが1番良かったですね。
明日から12日まで北アルプスの方に登山しに行くためデイレポをチェック出来ないかもですが、きっとクマQのみんななら元気にやっていると信じて登ってきます。(前期でグライダーに打ち込みすぎたせいか、単位をロストすぎたのでみんなもハマりすぎには気をつけてね。)

2014, 09, 08 Soar Narromine Winter session Report Day18

昨日で九州チームDay10となりましたが、まだまだインストラクターとしてすべき事を実施出来ていない自分が自覚出来ました。
昨日の学生のタスクはStallとSub-Gでした。フライト開始前、Shinzoさんからタスクに関する事前ブリーフィングは実施したのか？私は実施していませんでした。
Shinzoさんから何をやるとんだバカヤローです。練習生はタスクを持って飛行し、インストラクターは練習生が実施出来ない所をインストラクションし、問題を解決してあげないといけません。また、そのタスクを実施する意味を練習生に理解させなければなりません。教える側からタスクはこれだと言うだけでは、練習生はその意味を理解し、受け取れません。受信出来るような環境を作る事(ここでは、ブリーフィング)は重要なインストラクターのタスクです。それを実施していない私はInst.失格です。今回、これ以外にも本当に色々多くの失敗があります。しかし、それらを収穫として、Inst. Skill を向上させて行きたいと思います。このような機会を与えてくれる、学生達とナロメインに感謝です。

***** 以下、Daily Report *****

Photon

皆様こんばんは、Photonです。今日の収穫は大きなミスがあっても帰ってこられることを確認出来たことです。

ランウェイ04とランウェイ11を上空から見間違えた事が大きなミスでした。しかしhaveで何とか着陸できました。まだまだ修行中の身ですが、ミスをリカバー出来たことは大きな収穫とともに自信になります。

RalphTask(Ralph考案の曳航機が左右の旋回を繰り返しながら曳航するタスク)も「ほんとにRalphTask?いつもと同じじゃないの?」などと思いながらついていきました。これもイメージフライトとサーキットトレーニングの収穫です。そうそう、一昨日からイメージフライトがものすごく疲れます。イメージフライトの質が上がったからです。昨日は寝る前に8発飛びましたが、頭がつかれます。すぐに眠っちゃいました。寝室でだって私は飛んでいます！

今日は満月が綺麗でしたよ！日本でもきっと綺麗な満月でしょう。それではおやすみなさい。私はその前に飛んでまいります。

Ichiro

こんばんは、Ichiroです。沈下帯のため昨日はお預けになったストールを高度5000ftで実施しました。体が浮く感覚、視界に広がる地面の恐怖感を実感しました。ストールの前兆(ピッチが上がる、風の音が小さくなる、舵が効かなくなる)を早期につかむことが重要だとフライトとブリーフィングを通して学ぶことが出来ました。ソアリングパイロットを目指す身として、重要な一日でした。着陸後の地上滑走のためのクロスコントロールの課題もみつかりましたしね。まだまだ精進の日々です。それではまた



写真は今日のMitchell Highway(ナロマイン飛行場への道)の様子です。こちらにきた8月末はまだまだ寒い日が続いており、夜風邪を引きそうだとこぼす学生もいましたが、ここ数日はめっきり暖かくなり、ナロマインは夏に向かいつつあります。

2014, 09, 07 Soar Narromine Winter session Report Day17

遠征同行インストラクター兼、Daily Report発信担当のMakiです。Shinzoさんから昨日のレポートに関しまして、以下コメントがございましたので、冒頭に記載させて頂きます。
「自由な雰囲気を作り出すのは大事だが、意味無く遊ばせるのは大学生の部活としては相応しく無い」

と言うことで、Day 9 Report はちょっと自由度をあげ過ぎたようでした。今日のレポートはFLTに関する収穫(=Income)を紹介するようお願いしています。それでは、本日は以下2名からの実感のこもったレポートをご覧ください。

***** 以下、Daily Report *****

Kumamon

こんばんは、Kumamonです。ダイレポの内容がフランクすぎて「こいつオーストラリアで何やってんだ？」と思われている可能性を危惧し始めたので、今回は綺麗なオーストラリアの姉ちゃんの話とかは無しでいきます。
今日は初のサーキット練習(=課目場周飛行)の予定でしたが、風が適さないとのことで、ストールやサブGを含めた1時間9分の飛行練習でした。2日連続の長時間フライトはかなり効果があり、かなりリラックスして飛べました。特に関東組からのアドバイスを活かし、上空ではずーっと喋ってました。一人二役で会話したりもしました。これは効果絶大でしたね。「バンク大丈夫かー?」「あーオッケオッケ大丈夫よー」「ちょっとピッチ下がってるんじゃないのー?」「あ、ほんとだそしたらここで上げて上げて、よーっしオーケーイ」←これ全部一人で喋ってました。Ralphが毎回こんなことやってたんだと思うと、本当に頭が下がりますね。いや、ピッチが下がる、でしょうか。サブG感じちゃいますよね。(笑)それから、イメージトレーニングとして「自分が飛ぶ前の順番の人が着陸した瞬間からスタートするイメトレ」というものを始めました。つまり機体のセットからやるわけです。もちろん例のCHAOTICのように、体を動かします。目を閉じて座ったままやるので、実際に走ったりはしません。こいつが効果てきめんで、かなり効きます。みなさんもぜひやってみてください。没入感がまるで違います。少なくとも私はそうでした。効果には個人差がありますのでご注意ください。ちなみにちゃんと体動かさないとダメだからね。声も出してね。そしたらホントに見えるから。ほら、翼根を押してみな?手にバグ(=飛行中に翼に付着した虫)がついているだろう?そんな感じの一日でした。Messiさんの帰国もあってさらに人数の減った私たちですが、元気にやってるから安心してね! 関東組のDay16のダイレポを待ちつつ、今日はこのへんで! See you!

Photon

皆様こんばんは、Photonです。今日も大収穫のフライトでした。朝起きた時からここではフライト開始です。余談ですが実は昨晚、グライダーに乗って鳥と飛んでいる夢を見ました。こう考えてみると四六時中フライトしていますね。
本題に戻りましょう。今日は最初サーキット練習(簡単に言うと離着陸集中トレーニング)をする予定でした。しかし風が強く、サーキット練習に適さない状態だったのでストール、サブG(簡単に説明すると低重力体験です)、今までに引き続き旋回と直線滑空を行いました。ストールは体験してみるとShinが「絶対に低空で入っちゃいけないぞ!」と言っていたのが身に染みて分りました。音が小さくなり、想像していたものより本当に小さな振動の後、急に今までした事も無いような角度で下に突っ込む……ほんとに低空じゃやっちゃダメですね。
その後サブG体験です。まずノーズを下げて増速したのち一気に浮いてまた下に突っ込みます。まずお尻が浮いて腕が軽くなり胃が浮くのが分ります。ジェットコースターが大好きな私にとっては、なかなか楽しい経験でした。最初はどちらもぞわぞわとしたけれど高度に余裕が有りもう一度Makiさんをお願いして体験しました。こんどはストールの前兆を見逃さないようにすべてを感じ取りました。2度目のサブGはきついのをMakiさんをお願いすると、水筒まで浮き上がりました。サーキットは出来ませんでしたがそれでも離着陸はあります。昨日の反省とイメージトレーニングのお陰か昨日よりも格段に落ち着いて操縦出来ている気がします。着陸時はそれがとても実感できました。どこで旋回するかとか、そしてMakiさんに手を叩いてくださいと(=後席が操縦桿を操作していない証拠)お願いしながら着陸しました。確実に昨日よりは出来ました! 毎日毎日進歩があって楽しいです。それでは!

2014, 09, 06 Soar Narrromine Winter session Report Day16

本日から九州チームからのみのレポートとなります。理科・東工チームは帰国移動中です。実は理科・東工チームの別名はケセラセラチームと言います。学生達自ら命名しています。ご存知、「なるようになれ」ですね。

一方、九州チームは熊九チームと言います。こちらは単純に熊大と九工大の混合チームと言うことです。それでは、熊九チームからの報告です。尚、熊九チームは後半戦に突入しました。9月12日(金)が最終日のDay15となります。



Kumamon

こんばんは。久しぶりにデイレポ書いてます、Kumamonです。本日は、念願だった一時間オーバーの飛行をして、いっぱい旋回と直線の練習ができ、とてもhappyでした。地平線が横にスーッと流れていくあの感覚は、もうたまりませんね！他にはまあ本日は食当で行ったロイヤルホテルの調理場にいたお姉さんがすごく美人で鼻の下を伸ばしたり、飛行場で排便をしなかったり。それから大きな出来事として、関東組のケセラセラチームが帰ってしまったということがありますね。寝室のベッドが空いていたり、食事の際の椅子の数が減っていたりと、五人の不在とその大きさを実感しています。寂寥感に満ち満ちた寝室で、枕を濡らしております。まあ彼らが帰ったのは今日なんで、枕を濡らすもクソもまだ枕使っていないんですけどね！クソだけになってか！はは、やかましいわ！

失礼しました、以上Kusomonよりお送りしました。ケセラセラのDay16のレポートも楽しみに待ってるからな！待ってるからな！！それでは、Have a nice TOILET！



Ichiro

お久しぶりです、Ichiroです。昨日よりサーキット練習に突入しました。昨日は曳航中にジタバタしたり、1,800ftで離脱したりと自分を追い込むフライトにしてしまいました。そこから、イメトレ後に迎えた本日。チェックポイントや第三、第四旋回の位置

取りは落ち着いて出来たものの、操縦自体は未だ慌ただしく…風のせいによっとケセラセラの皆が何食わぬ顔でやってる事に凄みを感じさせられました。デイレポで成長見守ってくださいね。
それではまた See you again!

Photon

皆様いかがお過ごしでしょうか、Photonです。今日よりIchiroに引き続きサーキット練習に入りました。旅客機の言葉で「魔の11分」と言う言葉が有るそうです。離陸3分、着陸8分に大多数の事故が起きているそうです。グライダーもきっと同じでしょう。今日は緊張し、難しくあたふたしてしまいました。今までは毎回前日より上達を実感できていましたが、今日は余裕のない、そういったことも感じる事が出来ないフライトでした。しかし！今日のあたふたフライトのお陰で自分の分っていない事をはっきりと自覚し、今日午後からのイメージトレーニングの素材と意味をつかむことが出来ました。毎日が収穫ばかりです。明日はきっと今日より出来たと笑顔で報告出来る……はずです。そうそう、グライダーの事では有りませんが、オーストラリアのクッキーって美味しいですね！クッキーそのものは甘さ控えめでチョコチップだけで甘味を担当しています。美味しいの？と思う人も居るかも知れませんがこれがちょうどいいのです。お菓子の為のクッキーと言うよりは、エネルギー補給の為のクッキーです。これは良いですね。日本に持って帰りたいです。甘さでぐったりしませんし、小腹を満たせますから。そういえばビーフステーキも美味しいですよ。脂身がほとんどなく固いステーキです。またまた美味しいのと思う人も居らっしゃると思いますがこれがなかなかいいですよ。THEタンパク質といった感じで体にしみわたります。そして何より茹でただけの人参が美味しい！流石に生では遠慮したいですが、塩も何もかけていないのに人参の甘いこと言ったら！！そしてヴェルダースオリジナルキャンディーとココアコーラの変わらない味に安心します。厳密にいうとコーラはちょっと日本より炭酸が弱い気がしますが飛ぶ事を考えるとこれは良いですね。グルメレポートばかりになっちゃいましたが、グライダーをするうえでやっぱり食事は重要です。機体を走って追いかけて押して機材を運んでかたづけて……まあとにかくご飯は大切なのです。なんだか広くなった寝室に違和感を抱きながら、Have a Good Night!

2014, 09, 05 Soar Narromine Winter session Report Day15

Shin

こんにちは。今までサーキット練習ばかりでナロマインの景色を満喫できてないんじゃないか？と言う事で、今日のタスクはソアリングしてナロマインを思いっきり楽しむことでした。結果、1時間30分(自己最長)のクロスカントリーに！ナロマイン空港の南20キロまで飛んでいきました。しかも、ほとんど酔わなかったです！！これは大収穫。多少Makiさんのアドバイスもあったものの、ほとんど自分でサーマルを見つけて、7000ftまであがる事が出来ました。初めてのクロスカントリー、楽しかったなんて言葉じゃ言い表せないくらいに感動したし、グライダーをやってて良かったと思えるものでした。最終日なんてことは考えずに今までを過ごしてきましたが、残念ながらどうやら今日がこの遠征で、ナロマインで飛べる最後の日だったようで…でも最後にとっても良いフライトが出来て大満足です。大収穫祭でした。また今度ナロマインに来て、今度は単座機でクロスカントリーに行きたいですね。



Ralph

はい、Ralphです。今日は自分でサーマルを見つけ、自分で上がっていく、Makiさんにはアドバイスもらわない、I Haveさせない！というタスクでした。

実は数日前の強風の日、サーマルについてのお話があったからのフライトで、絶対に上がってやると意気込んでいました。そして上がってみるとサーマルを見つけ、上がっていきこうとしばらくレフトターンした後に、上りが微妙になったのでちよいと動こうとしたのですが、何を思ったのか、頭では分かっているもとっさにレクチャーとは違うライトターンをしてしまい、さらに沈下帯にドハマリして15分で降りてきました。これは、僕の長所でもあり短所でもあるのですが、考えたり思ったりしたことをぱっと知識を通過せずに行ける(左脳を経由せずに右脳で行動？ Shinzoさん曰く子供になれる)ことに原因があります。

普段操縦する時は左脳であれこれ考えずに反応して操縦できるプラスの面がありますが、左脳で考える、例えば今回のソアリングの知識からくる行動や地上などで、しなくても良いのに余計な事を(良かれと思って)やってしまう、言ってしまうなどマイナス面もあります。

このことは普段一人でいるときには問題無いのですが、グループ活動では、マイナスの要因になってしまう事がほとんどです。地上にいても、どこにいてもいつでもフライトです。僕はこの長所でも短所でもある”これ”をうまくセルフコントロールできるようにならなければなりません。パチッパチッとスイッチを切り替えるように…。そしてこれができるようになることで自分は一人前のパイロットになれるとそう確信しました。

タスクとしては達成出来ませんでした。それ以上の、First Soloなんかよりもっと価値のあると思える事ができたと思っています。だって自分が一人前のパイロットになれる道が見えたのです。自分が何をしなければならぬのか。これが僕の今日の収穫です。今回のナロマイン遠征最大の収穫です



Shunta

とうとう最終日になりました。Shuntaです。今日は一発目通常サーキットで昨日と比べて飛行機曳航がリラックスでき、かなり上手く安定を活かして飛ぶ事が出来ました。しかしイメージフライトの回数は多くとも、内容の濃くないものは役に立たないと言うのを痛感しました。しかも二回目のフライトでは発着点にグライダーを移動させる前にCHAOTICのコントロールセンスをしてしまい、ミスのため、フライト中止にしました。折角の索切れタスクを達成出来ず、ソロフライトも出来ませんでした。日本に居ては気付もしないようなミスを知ることが出来て、悔しくて悔しくて、頭では分かっているけど涙出そうになりますが、日本に帰っても次につなげられる、最大の収穫になりました。

この合宿を通してリーダーして、弁当事件(リーダー兼食当の時に前日に作ったサンドウィッチをランウェイに持って行くのを忘れた事件)おこして、ミスして、とてもこの文章では表せないくらいいい経験しました。社会に出てからでは許されないミスも、経験できました。責任と言う言葉も今までとの重みの違いを感じます。将来の目的、エアラインパイロットとして飛ぶと言う事にメンタル・心の面で大きく成長できました。皆に感謝しきれないくらい、色々なものを貰いもしました。ありがとうございました。



Mino

こんばんは、Minoです。今日で最終日を迎えました。この2週間は本当にいい経験ができました。辛かったり、悔しかったり大変なことも沢山ありましたが、本当にここに来てよかったと思います。「Mino,下を向くな!!」と何度も言われましたが、この言葉はこれからも忘れません。「上を向いて歩こう」これが、僕のこれから先ずっとこのテーマですね。仲間には本当に感謝しています。大変なときもみんなが支えて

くれました。僕の中で一番の収穫は、信頼しあえる友人に出会えたということです。本当にみんなありがとう。さて、まだこの遠征が終わったわけではありません。得られるものは全部収穫にして、笑顔で帰国しますね。



Messi

追加の報告です。Day9の件の社会性について、もっと具体的な気づきを書きます。滞空してR/Wに帰ってきた私は、3000ftで着陸の旨の無線を入れることを知っていたのにしていませんでした。その後、サーキット近くで飛ぶことの危険性を理解しておらず、チェックポイントの近くで旋回を続けていたところ、飛行機が接近することになりました。知識として知っていたけれど身に付いていなかったのです。ここでの私のINPUTは、ルールは知識としてだけ知っているのではなく、ルールの意味を理解して、必ず実行するということです。今回の件では、次の2つの項目について学びました。

1. 3000ftになったら着陸の旨の無線を入れる。
2. チェックポイント近くは、交差点のようなもの。その近くでは課目などを含めてその場に留まるべきでない。課目はチェックポイントから離れたところで行なうこと。

2014, 09, 04 Soar Narromine Winter session Report Day14

Shin

今日もデイレポ書きます。今日は昨日と違って静穏でとても飛びやすかったです。セカンドソロ頂きました。今思うとなんで昨日あんな風の中ソロに行ったんだろうって思うくらい今日は楽でした(笑)。昨日は操縦するのに必死で景色が見えてなかった(?)のですが、今日はShinzoさんの家の上空で旋回したり、遠くの山を眺めたりしてとても楽しめました。最近空港の近くでアクロバット機が練習しているので単座機には乗る事が出来ないと言われましたが、それは日本に帰ってからの楽しみにします。



Ralph

今日のはのんびり長時間飛ぼうかなーって思っていたら、午前中すっごい静穏だったので急遽セカンドソロ行かせろ！っということでShinに続きセカンドソロ楽しんできました。

ファーストソロの時はなんだかんだ緊張してて景色見られなかったけれど、今日は地平線丸いなーとか山の奥の山の奥の山とかよく景色が見えて綺麗でした。あの景色を独り占め？していたひと時は最高でしたね。更に今晚は自分の中でもやもやしてて頭の中でうねうねしていたもの(責任？に関わる事なのですが僕には言葉で説明するのが難しいので説明は省略させていただきます)がブリーフィングで時間をとってもらいすっきりして、ファーストソロ終えたあたりから日に日に体と頭が固くなっていたのがほぐれていく感じがします。時間をくれたみんなに感謝です。明日は自分でサーマル上がって行って長い時間飛んでいきたいです。短時間で降りる事になっても悔いはありません。ただ、Makiさんに I Have はさせませんよ。

Mino

こんばんは、Minoです。今日はグループリーダーを担当しました。みんな積極的に動いてくれるので、とてもスムーズな一日になりました。ただ、反省すべきなのは帰宅後のことでした。帰宅した安心感からその後気を抜いてしまい、だらだらした時間を過ごしてしまいました。リーダーとしての「責任」と「自立」を再確認し、もう一度「毎日がDay1」の意味を考え、最終日いままで一番充実できたと感じられる一日にします!



Photon

今日はなんと2発もフライトしました。実は最初の一発が全く上がれずすぐに着陸したので2発目に行きました。一発目ほとんどできなかった曳航機追従が2発目にはその反省を生かし、少しは出来るようになりました。毎日毎日ほんの少しずつですが昨日の自分より上手くなっています。

直線滑空はまだ苦手ですが、明日には出来るようになっていくはず！・・・です。ところで明日からナロマイン空港上空でアクロバットコンペティションが有るそうで今日からプラクティスが始まりました。実は私のグライダーにおける最終目標はソアリングも勿論ですが、アクロバットをカッコよく決める事です。

グライダーとプロペラ機、違いはありますが上で華麗にアクロバットを決めている機体を見るとモチベーションが急上昇しています。搭乗中に飛んでいる鳥を下に見たり急降下しているアクロバット機を見るとずっと夢だった「空を自由に飛ぶ」ということに近づくのがとても嬉しいです。まだまだ知りたいこと、見たいことが沢山あり過ぎて、なにをしても勉強になります。

やる気はあって、まだまだ書きたいことも山ほどありますがお腹が減ると何もできないのでこの辺で！



明日、5日(金)は理科・東エチームの最終日です。しかし、彼らの明日のDaily Theme はDay ONEです。最終日だからこそ、初心に戻ってトレーニングフライトに望みたいとしています。皆成長しています。Maki

2014, 09, 03 Soar Narromine Winter session Report Day13

Shin **First Solo!**

昨日のデイレポで、明日はハッピーなフライトにします！って言ったんですが、見事自分史上1番ハッピーなフライトに出来ました。ついに初ソロに出られました！



2発目に索切れをし、その後1人で9分間のファーストソロフライトをしました。とても嬉しかったです…！上空では「俺のフライトだ！」とか叫んでいました(笑)。ナロマインに来るまでにフライトは沢山してたのに、なかなか上達しないと思って、思い悩んだ時もありました。でもそんな時に俺を支えてくれたのはShinzoさんやNaokiさん、Hiroshiさん、MakiさんとMessiさん、そしてメンバーのみんなでした。(要するに全員ですね。)ほんとうにありがとう。でもこれがゴールじゃありません。今度は単座機をひとまずの目標として、日々精進していきたいです。お祝いのシャンパンで酔ってしまったので今日はこの辺で(笑)

Yasu

お久しぶりですYasuです。今日は遂に離陸と着陸を自分の操作で出来ました。ナロマインで初めて操縦桿を握って約二週間でここまで成長したことに驚くとともに、たくさんの仲間と互いを高めあいながら前進していけるこの合宿の環境は良いものだなと改めて実感しています。今日はShinがソロに出てますます全体の士気が高まっています。残りの日々を大切にしつつ、精進します。

Ichiro

こんにちは、Ichiroです。今回2回目の登場となります。さて、前回酔いながらのフライトを報告しましたが、今回上空では酔いませんでした。しかもMakiさんの45°~60°バンク連発のおまけ付きです。Naokiさん、児玉教官、ついにやりましたよ！技術の方も身についてくるのが分ります。これからも仲間とともに、どんどん吸収していきたいです。

Mino

Minoです。Ralphに続いてShinも初ソロにできました！本当にうれしいことですね。私もエネルギーを貰いました。私は今サーキットをやっています。イメージフライトの成果もあって前日できなかったことが今日は出来て、自分でも上手くなっているんじゃないかと思えるようになりました。「毎日がDay1」であるということを忘れずに、一步一步進んでまいります。



インストラクター見習いのMessi です。

少し遡りますが、Day9で学生と飛行中にRW22チェックポイント付近で、ナロメインに着陸しようと飛来した軽飛行機と接近するという事象ありました。このことから、①-学生と飛ぶことのインストラクターとしての役割、②-社会性を持って飛ぶことの意味を実体験でき、自分自身への収穫としてそれらを是非身につけておくべきだと実感しました。

① -インストラクターとしての役割

この時のFLTにおける学生のTASKは機体の安定と3舵であり、1時間滞空しながらその科目は全て終了していました。その後、着陸のためにチェックポイントに向かったが、弱いサーマルがあり、その近くで旋回していました。それが飛行機との接近の直接的な原因です。そもそもこの旋回は学生の科目として考えれば全く不要でした。インストラクターとして、全てのフライトは学生の課題達成のためにあります。今回得られたこの考え方をインストラクションの基本として肝に銘じます。

② -社会性を持って飛ぶナロメインでは、グライダー以外の飛行機も頻繁に離着陸しています。妻沼・関宿や久住等はグライダー専用滑空場ですが、ナロメインのように、世界ではグライダーも公共の場所で飛ぶ航空機です。だから、グライダーといえども社会性の中で飛ぶべきものであると身に染みて感じました。今後は、社会性を持ち、基本に忠実にFLTを行います。

理科・東工チームは残すところ、後2日間となっています。本日は昨日の強風No Flight の翌日で、Day-One の心境で学生達は望んでいたようです。Day One 即ち初心に戻る事により、素晴らしい成果ができています。九州チームはDay6となり、フライト、オペレーションの両者に目を見張る進歩が出て来ています。

Maki

2014, 09, 02 **Soar Narromine Winter session Report Day12**



Shinです。

今日は強風のため外でのフライトは出来ませんでした。じゃあ一日中イメージフライトか！って言うわけでもなく、いままでノンストップでフライトしてきたのでみんな疲れているだろう、と言う事で今日はShinzoさんからサーマルの話聞き、各自リラックスする時間に充てました。ソロがすぐそこまで来ているのに外で飛べないのはとてももどかしいですが、今日のところはひとまず体を十分に休めて明日のフライトをハッピーなフライトに出来るようにします。

ところで少し前からリーダー制度というのを設けていますが、これがとてもうまくいっているんです。どんな制度かと言うと一日一人リーダーを決めて、その人がみんなのめんどろをみるんです。東工理科大チームは既にみんな一回以上経験していますが、リーダーになった人は責任というものを学び、全体が良く見えるようになり、そのお蔭でフライトまで上手くなっちゃいます。いいことしかありませんね。日本でも導入したらいいかもしれません。どうでしょうKengoさん！去年「みんなのメッセージ入りTシャツ」の力で見事ソロに出たKengoさん、毎日デイリーレポートを読んで、どんなことを感じているのか、みんな気になってますよっ。

Shuntaです。

今日はShinさんが書いた通りの一日でした。ただ今日は格納庫で地上滑走のイメージトレ、庭でサーキットのイメージトレをしていました。ノートに想像のサーキットのイメージを描くのもやりました。丸一日が飛べないのははじめてでしたが、休憩にも最適だったのではないのでしょうか。しっかり寝て明日に備えたいと思います。

2014, 09, 01 Soar Narromine Winter session Report Day11

Ralph **First Solo!**

この前はずいぶんと空いたのに今度は一日あいてからになりましたが、中間はないみたいです僕には。

今日は地上で機体が動き始めてからずいぶんと浮くの早いなーとか、いつもよりすげえ舵が軽いなーとか思ってたらなんと後席に誰もいないんですよ～。ついにファーストソロですよ！ファーストソロ！



晴れてこれでソリストになったわけですが、今日までの11日間、仲間というものの大切さ？が痛いほどほんとよくわかりました。協力者？でありライバルでもあり、時にはインストラクターでもあり、共有したり競争したり何か新しいことに気づいたり、彼らのおかげでたった15回のフライトが2倍、3倍、いやもっとそれ以上の並みのフライトに等しくなったと思います。彼らがいなければDay-11でソロには出られなかったはず。Shin、Mino、Shunta、Yasu、途中参加のKuma-QチームのIchiro、Photon、KumamonそしてNaokiさん、Hiroshiさん、Makiさん、Shinzoさん…ほんとうにありがとうございます。なんかありきたりな感じになりましたが、それだけ感謝してます、言葉に出来ないんです。

では、このあとお祝い？があるのだからこらへんで……Ralphでした。





Kumamon

Kosukeから改名し、Kumamonになりました。改めて、Kumamonですよろしくお願い致します。本日は、飛行時間40分のフライトでした。今回は、到着してから精神的にもだいぶ慣れてきたということもあり、収穫がかなり多かったと思います。足の感覚が鈍いだとか、自分のポジションを意識するとか、そういったことなど。それから、ランウェイの草むらで排便をすることになったりしたのですが、拭いた後の紙は自然に返しても構わないとのお言葉を頂いたので、すこし身が軽くなったような思いです。おそらく物理的にも軽くなっていると思います。というわけで、万全の状態でフライトに臨むためにも、皆に積極的な排便(たとえそれが野外での行為になったとしても)を推奨していきたいと思ひます。それでは私はこのへんで。皆さん、いい排便を。



写真は初ソロと、Shout(シャウト)の写真です。Shout=オーストラリアでは初ソロに出たパイロットが皆にお酒を振舞って祝って貰います。(なお、皆未成年者なので実際に振る舞われたのはノンアルコールのスパークリングワインです)

雉撃ちの話がナロマインレポートで登場したのは初めてではないでしょうか。しかし、Kumamonはきっと頼もしい安全なパイロットになれると思ひます。平地のナロマインのR/W横で雉撃ちが出来るのですから。Maki

2014, 08, 31 Soar Narromine Winter session Report Day10

1週間遅れで遠征開始の3人も3日間が経過し、ほぼ一人前にオペレーションに参加出来るようになってきました。本当に皆、飲み込み上達が早く、Day15までにどこまで進歩するのか楽しみです。Maki
 ** 本日は以下の2人からのレポートです。



Shunta

こんにちは。最近しょっちゅう書かせて頂いているShuntaです。昨日のレポートで大失態をしました。昨日、失速と書きましたが、正しくはストールです。ストールは迎え角が大きくなって翼の表面を流れる空気が剥離して起こる現象なので失速ではこのニュアンスが伝わらないので修正します。

今日は食事当番とチームリーダーをやりました。昼ごはんのサンドウィッチなどは前日に予め作っておいて、翌日ランウェイに持っていくつもりだったのですが、今朝それをすっかり忘れていて家に置いて行ってしまいました。そのせいで食事も遅れて皆に迷惑かけてしまいました。みんなごめんなさい！！

先を読みつつ現在の問題を対処するというのはとても難しく、先のことに集中していると現在のことがおろそかになり、現在に集中していると先読みを忘れる。このバランスの悪さを修正してちゃんとマネジメントできるように鍛えていきます。そのため明日もリーダーに立候補する予定です。

今日のフライトについて書くと今日は初めてサーキット(場周飛行)をやりました。まだ1回目は高度処理を見積もり間違えてチェックポイントが1700ftで通過になってしまいました(標準は1800ft)。旋回を一回多くしただけで、高度がずれてしまい、しかも上昇するところ、下降するところが飛んでみないと判らないという難しさもありましたが二回目は高度処理はきっちりできました。

ただ着陸の時のフレアでちょっと遅かった感が有りました。明日はファイナルの距離をもう少し長めにとって試してみようと思います。



Ichiro

初めまして、Ichiroです。本日Day3を迎えました。朝夜寒く、昼は暑いNarromineにだいぶ慣れてきました。移動による疲れからも回復しました。さて、私のフライトについて書いていきます。昨日は午後からDuo Discussで飛んだものの、途中で酔ってしまい、早めに降ろしてもらいましたが基本操作を一通り体験する事が出来ました。その後、昼食と感動の再会を果たしてしまいましたが…。そして本日はASKにて昼食前に飛ばしてもらいました。酔う事は酔っちゃったんですけどね。Makiさんの「リラックス、リラックス」の声掛けのお陰で回復したのち、旋回と直線滑空を行いました。昨日よりも視野が広く、遠くまで取れたことで、自分の操作に対する機体の挙動を感じる事ができました。旋回よりも直線滑空のほうが難しいという新発見もありました。流された後の修正操作が大きくなりがちでした。明日からも酔いと折り合いをつけながら楽しく飛びたいと思います。ではまた See you again!

以上、Daily Report です。コメント、励ましの言葉等ございましたら、返信頂ければ幸いです。学生達のモチベーションも更に上がります。 Maki

2014, 08, 30 Soar Narromine Winter session Report Day8

九州地区からのナロマイン遠征チーム(下記の3名)が昨日29日よりナロマイン入りし、今日でDay2となります。

本日より、ナロマイン遠征報告を西部の皆さまにも配信させていただきます。理科東工チーム(5人)に併せて、九州からの3人のこれからの成長ぶりをお楽しみください。

Maki



Shunta

こんばんは。Shuntaです。ただいまのナロメインは夕暮れ時で、食事をとりに行くまでの間、風呂に入り終わったので私が書いています。ナロメインは星がとても綺麗で、夜に庭に出ると星が良く見えます。天の川なども写真で見るとよりずっと圧倒されるようなものが見れます。そんな夜でもサーキットトレーニングに入った人はイメージトレーニングを庭で繰り返しているようです。私も明日からサーキットトレーニングに入ります。チェックポイント通過までの高度処理や風の強さ、向きなどをしっかりイメージしたトレーニングをし、明日に備えたいとおもいます。

今日はメインタスクに失速、サブGを実機で感じました。低重力状態では頭が大きく後ろぞりになってしまい、恐怖感がありました。ただジェットコースターが好きな人は逆にハマるかもしれません。まあ、失速とサブGの違いがよくわかり、失速の兆候であるピッチ、音、舵の効き、も感じる事が出来たのは、とても大きい前進でした。

その2つのタスクを行った後、ずっと急旋回をしていたのですが、気持ち悪さレベル2まで行きました。因みにレベル5がmaxです。

空中でちょっと休憩したのでそれ以上気持ち悪くならず済んだのですが、場周を確認しなかったのが早めに降ろしてもらいました。コーラ飲んでなかったのが良くなかったのかなあ。

あと離陸の時に安全高度1800ft(msl)から飛行機曳航をしました。事前にイメージトレーニングをしたのが少し良かったのか以前より追従しやすかったです。

それではご飯を取りにいかなければならないのでこのへんで。



ラダー操作上達のためにみかんを足で剥く練習

Ralph

なんかご無沙汰な感じがするRalphです。これまで花粉症で2日上空に行けなかったりとかいろいろありましたが、フライトしてない日はないんでほんと充実してますよほんとほんと。今日もサーキットをやっけてですね、曳航はShinzoさんにブンブン振り回してもらいましたけど、いやーイメージトレーニングの効力は言葉にできないですね。そして今日は速度計隠してとんだんですが、自分では見ていないつもりでも意外と無意識に頼りにしていたんですねー。明日は隠さないけど、もう速度計とはばいばいさよならーしたいところ。明日はサーキットやりながらストールとローンチフェイラーやるというなかなか楽しそうな内容なのでそろそろ索(イヤホン)付けてイメージフライトいってきますー

Photon

こんばんは、鴻志改めPhotonです。Day2なのでまだまだ仕事や係仕事は見習いですが、Day1もDay2も飛ばさせて頂きました！
久住では10分を超えるフライトはなかなか出来ませんでした。昨日が40分今日はなんと60分も飛ぶ事が出来ました。「計器を注視するな」と言う事を心がけサーマルにいと、次に計器を見た時にとても高度があがっている事に驚きます。今日は2800ftで離脱して4000ftまで上昇しました。初めて操縦桿を「I have」させて頂いて旋回、直線滑空を行いました。本当に操縦桿は繊細な動きを要求するのでなかなか難しいですが、だんだんと慣れていきたいです。お腹が減りましたのでこの辺で。

Kumamon

こんばんは、Kumamonです。昨日到着して、Photon、Ichiroと同じく本日Day2です。昨日のフライトは体験ということで、10分ほどで終わりましたが、今日は53分のロングフライトでした。これは自分にとってはとてつもなく凄いことでした。三舵操作から始め、旋回、直線飛行にもチャレンジしましたが、初経験のことが多く、非常に勉強になります。明日もしっかり楽しんでいきたいと思ひます。それでは私はこのへんで。アデュー！

2014, 08, 28 Soar Narromine Winter session Report Day7

Day-7のReportです。

下を向いて落ち込んだ様子が見られたので、坂本九ちゃん”上を向いて歩こう”をテーマに、一歩だけ先を考えた行動にしようというDairy Themeを決めました。同時に、本日から、Operation Leaderを決めています。

結果的に、大変成果の上がったDay-7となりました。

Runway Change、Flight順当が変わる中、皆が協力して動けるようになり、ハンガークローズまで、Leaderが引っ張り、周りが協力する体制で、皆がManagementすることの意味を知りました。

また、夜のBreifingでは、皆で、”上を向いて歩こう”を熱唱(!?)しました。写真はその風景です、Naoki



Mino

こんばんは。今日は前日のブリーフィングで決めたようなマネジメントができるようになるため、グループリーダーをつくり、今回わたしが担当しました。リーダーになったという自覚から、周りの状況を読み、次に何をすべきかを考えるようになり、結果とてもいい一日を過ごすことができました。リーダー任されてもみんな積極的に動いてくれるのでとてもやりやすかったですし、フライトにもより前向きな姿勢で取り組むことができました。明日も私が担当しますが、リーダーでなくても常日頃からそのような意識で残りの日々を過ごしていきたいですね。

Yasu

こんばんは。今日は、初めて一時間以上の滞空を経験し、雲の底にかなり接近することもできました。リラックスできる姿勢で操縦することで、これまでよりもキャノピーの外を広く見ることができるようになってきました。明日からは合宿の人数も増え、一日のスケジュールがこれまでよりもハードになりますが、貴重な経験としてこなしていきます。

2014, 08, 28 Soar Narromine Winter session Report Day6

Day-6のReportです。

Day-3にサンダーstormの予報が出た(結果的には、面白い条件の中でのフライトでしたが)だけで、ずっと飛べてます。日々、自己管理の意味が分かってきているようです。

ここは、冬と言うことですが、日本のベストシーズンに近い条件です。生活面での成果報告もお楽しみください。Naoki

Shunta

今日もレポート書かせていただきます。今日は大きな収穫がたくさんありました。まさに幼稚園から中学校にレベルアップした感です。

一回目はほとんど上昇できず、20分ほどで帰って来てしまったのですがたまたまラッキーで二回目を飛ぶことができ、様々な操作を空中で行うことができました。CHAOTICに始まり、ランウェイエンドチェックをし、自分で離脱した後、何回も左右に90°、180°、270°、360°旋回を行い、上昇気流の中での旋回のトリムセット、自分で高度を稼いで6000ft到達し、直線飛行、トラフィック警戒、パソコン操作しパス角がどの様になるか(注:こっちはダイブのことを速度調節器としてではなくパス角を変えるための機械としての意味を強く持たせるためパソコンローラー、略してパソコンと呼んでいます。)をし、結果として最長時間記録の1時間39分の飛行ができました。鼻歌交じりに飛行することで、今までとは比べ物にならないくらいリラックスでき、お昼寝出来そうなほどでした。(もちろんちゃんと操縦しています。)

6000ft、標高2000m近いところまで上がったので40キロ離れた隣町もすぐ近くにあるようにみえました。

夜には仲間で話し合いをし、普段のマネジメントについて話し合い、サンドウィッチは前日に作る、確認はお互いに繰り返す、大きい声・復唱・ボディランゲージをする、自分がした(またはする)アクションを伝えるということを決めました。このような仲間一同で考えて議論する時間があるのはとてもためになりました。みんなで自分のフライトを自慢しあう時間があったらもっとハッピーになりそうです。

Shin

こんにちは。二日前からサーキット練習に突入しました。しかし今日の一発目のフライトは緊張とプレッシャーのせいか、思うようなフライトが出来ませんでした。リラックスしてフライトをすること。それが操縦のうまい下手よりも何よりも大事なことなんだと実感しました。もちろん地上練習もしています。もう24時間フライトですね。

2014, 08, 26 Soar Narromine Winter session Report Day5

Narromine遠征Day-5の報告です。

先ず初めに、私(Naoki)から。

今日は、朝からサンダーstormのForecastが出ており、合間を縫ってのフライトとなりました。少しでも効率よく回すために、Instructorとしてやってはいけないことをしてしまいました。ASK21の固定バラストを、ソロ前の練習をしているPilotにおいて、今までと違うセットをし、最大公約数的な固定バラストとしてしまいました。その結果、Solo前のPilotにとって、前日と違うトリムでのフライトをさせてしまいました。これには、何十年ぶり(?)にShinzoさんから、本気のバカヤローをもらってしまいました。

Qualityと効率は比較するものではありません。Qualityが落ちることは、何を犠牲にしても行ってはいけません。Instructorとして、大変恥ずかしい思いです。

5人の成長は目を見張るものがあります。その成長をサポートできるチャンスに感謝。

では、Mino(中野内)とShunta(片山)のReport,読んであげてください。



Mino

こんばんは。東工大2年のMino(中野内)です。今日は、サーキットトレーニングを行いました。この練習はいろいろなことに注意を払う必要があるので大変ですが、イメージフライトを繰り返して、少しでも地上で出来ることはないか、仲間と考えながら生活しております。

ブリーフィングでは、仲間同士で意見交換を積極的に行い、本当に貴重な時間を過ごせて幸せです(笑)



Shunta

はい、2回目登場のShuntaです。今日のメインタスクはこしばらく続けている「リラックス」です。2日前までは空に上がると心まで舞いあがってド緊張で地平の傾きも全く認識できてなかったのですが、今日は昨日行った「上空で歌う」で離陸から始終リラックスして飛ぶことができ、地平までまっすぐな道路の



上を直線で飛んでみたり、90度旋回して初めて操縦桿と手が馴染んだ感があり、ソアリングで初めて+5を超える様なサーマルに遭遇し、ほんの数メートルで雲にての届きそうな上空4400ft,33分の自身最高記録で酔うこともなく、最高の経験、進歩でした。その後のご飯も最高にうまかったです。あと今日は初めて自分の声を電波に乗せました。ちなみに今日は食当(食事当番)で朝ごはん(味の薄いシリアルにバナナ、洋ナシ、オレンジ、ヨーグルトを乗っけて牛乳をかけたもの)と昼ごはん(サンドウィッチ、リンゴ、生人参、コーラ)を準備する担当だったので、いつも

の朝より忙しかったですが、他の準備も時間通りにできたので生活面でも1歩進歩です。先読みってホント大事。夕食後のミーティングでは、一人ひとりが自分の紙に自分の強みを書き、その紙の裏に他の人1人1人が思う自分の強みを聞いてメモし、表の強みと他人から見える自分の強みを比較するというのをやりました。これがなかなか興味深く、普段の生活ではわからない様なことも知ることができ、自己分析にもとても役に立ちました。仲間ってとても重要で大切だと思いました。

2014, 08, 26 Soar Narromine Winter session Report Day4

Narromine遠征Day-4の報告をさせていただきます。

今日から、二人Shin(岩井)とRalph(菊澤)がサーキットトレーニングに入り、家に帰ってから、模擬飛行、イメージトレーニングが始まりました。

感性の強い5人ですので、進歩が目に見えて、私は感動しています。

また、イエローカードをもらいそうなくらい、積極的な行動が出てきて、自己主張の大切さが行動に表れてきました。

Day-4までに、既に3人がR/Wで涙を流しました。皆の取り組む姿勢に感動です。

今日は、写真が無くてすみません。

Naoki

Mino

こんばんは。東工大2年生のMino(中野内)です。Day-4では、ストールの体験と回復を行いました。体験だけでなく、夜に行われたブリーフィングでより理解を深めました。また、友人のフライトのコメントは気づかされる点が多く、自分のフライトに非常に役立ちます。これからは自分の目標、アイディア、ミスなどいろいろなことを共有していきます。

Yasu

こんばんは。理科大1回生のYasu(松田)です。Day-4では、正しい外の見方とマニューバリングをタスクとして行いました。キャンピーの中での姿勢の重要性和フライト中に鏡を見ることが有効であることを理解しました。飛行中にキャンピーの中から他のグライダーが見えると、とても美しいです。飛行中のリラックスを意識して明日からも飛んでいきます。

(明日は、機体の中に5円玉をつりさげて、重力の掛かり方、良い姿勢について理解させる予定です。Naoki)

2014, 08, 25 Soar Narromine Winter session Report Day3

Narromine遠征Day-3の報告をさせていただきます。

Flightのタスクもさることながら、周りを見て行動することが既にできています。ただ、新しいことへの取り組みで、大変良い緊張感をひしひしと感じます。

5人とも、吸収力の速さ、探求心の強さがあります。

これは、皆さんにもぜひここで実感していただきたいことです。

それでは、Day-3のReportお楽しみください。Naoki

本日は、一人からのReportです。



Ralph (菊澤)

こんにちは。理科大2年生のRalphです。2年生ではありますが、去年は座学のみでフライトには参加できず、今年もナロマイン遠征前は2回しか飛べていなかったの、その分ここで思いっきり飛んでやろうと思っています。いや、飛びます！
Day-3のフライトは自身4回目のフライトでしたが、1時間23分もの、これまでの倍以上の時間でしたが、バカみたいにリラックスしていると言われるほど落ち着いてかつ集中して飛べ、非常に内容の濃いフライトにできました。この調子でガンガン飛躍(機体もグライダーパイロットとしても)していきます!!!

2014, 08, 24 **Soar Narromine恒例 Winter session Reportスタート!**

Narromine遠征Day-2の報告をさせていただきます。

昨日に5人が到着し、体験フライトの後の本日Day-2となりました。
日本に居る際に、今回の最大のテーマである、Self Managmentの一環として、3S(Safety, Soaring, Self Management)を座学で説明して臨みましたが、早速本日、Mino(中野内)がSafetyを自分で感じ、ハンガー内の曳航機を移動させる対案が出ました。Narromineに来る前からのみんなの準備と心意気の結果、Day-2から、大変レベルの高い遠征となっております。Sheep Dogの秘めた統率力が、皆を確実に一步一步引き上げています。これらは、逆に、私が教えられています。それでは、みんなのDairy Reportお楽しみください。

Naoki



shin

こんにちは。理科大2年生のshinです。ナロマイン遠征に参加するのは2回目です。Day-2の今日は早速1時間20分のフライトをして、自己最長記録を更新しまし

た！もちろん酔いました。ただし去年とは違ってこんなことで挫ける自分ではありません。明日からは前席に鏡を付けてフライトしてみます。また、自分はメモを取りすぎると普通の人になってしまうようです。ブリーフィングの時にメモを見ながら喋ってしまうからです。去年の純粋な自分を取り戻したいです。

shunta

こんばんは。理科大一回性katayamaです。ナロマイン遠征に早いうちに基礎をしっかり固めることが重要と言うことで参加しました。Day-2の今日は20分の飛行で酔って空中でゲロしました。緊張と酔いでどうやら手がガッチガチに固まっていたようで、ほとんど記憶もすっ飛んでしまいました。とにかくリラックスしないことにはどうしようもないようです。まあ、要は自分なりにできるところでやります。ちなみにこれの書き方がよく分からなかったのでshinの文を借りました。近いうちに自分なりに書けるようにします。

[\(どこにある？どんなところ?\)](#) [\(行きかたは?\)](#) [\(料金表\)](#) [\(宿\)](#) [\(どうやって予約するのか\)](#) [\(予約申込書\)](#) [\(予約状況\)](#) [\(英文で書かれたいろんな事\)](#) [\(ideo home pageへ戻る\)](#)

第3回 NARENKAI マジ編 (2014. 3. 6-3. 14) レポート

昨年につき第3回 NARENKAI マジ編が開催されました。開催の概要は、以下の通りです。

名称 : NARENKAI Spring Session (俗称 : マジ編)

期間 : 2014年 3月6日~14日 (基本日程)

場所 : Soar Narromine <http://www.soarnarromine.com.au/index.htm>

フライトトレーニング, ブラッシュアップ, 久しくソロに出ていない人, またクロスカントリーフライトをエンジョイしてみたいという方に来て頂き、ちよつとマジに飛びましようと言う企画です。勿論、夜はフライトの話, 昔話, よもやま話で盛り上がりました。今年の参加は、昨年引き続き、Nob、Kadz、Hiroshi、そして初参加の Chiaki の4名でした。

Nob (堀崎) さん : 3月9日-3月14日

Kadz (半田) さん : 3月6日-3月14日

Chiaki (佐藤) さん : 3月10日-3月13日

Hiroshi (市川) : 3月10日-3月14日



左から Kadz、Chiaki、Shinzo、Nob、Hiroshi



NOB（東工大OB・午年生まれのシルバーパイロット）

NARENKAI マジ編参加3回目。

初回：単座ソロ（グライダー初ソロ）をめざす

2回目：単座ソアリング

3回目：今回は2時間のソアリングをめざす。

さて今年の成果は？

目標達成できました。2時間ソアリング。2時間ぴったり。信三さんに「2時間ぴったりとは、デジタル人間らしい。」と茶化されましたが。

フライトの状況はといいますと。

9日：DAY1 休憩（後述）

10日：DAY2 0+45（ASK21、信三さん後席）

11日：DAY3 0+20（ASK21、他に複座利用のお客さんがあり、私がそのままソロで、以降ASK21）

12日：DAY4 0+30

13日：DAY5 2+00（max 8,100ft）

14日：DAY6 1+20（max 5,200ft）

今回の目標は2時間のソアリング。はじめはサーマルをつかむのに四苦八苦の二日間（と言っても二三十分のことですが）でした。信三さんに離脱高度をしっかりとったらしいのと言われていましたが、曳航中サーマルに入りこれをつかめばと離脱しましたが、つかめずあえなく沈。DAY5以降はしっかり高度をとってから（AGL3,000ft以上）離脱。やはり高度は味方です。ゆとりを持ってサーマル・サーチができたよう

です。

周辺に他のグライダーがいなかったのも自分にゆとりができたと思います。ダボ（40km 東）の方のシャワーがどう動いてくるかも確認しながら飛べました。結果として、ひとりで2時間のフライトができました。そして自分でも驚きますが、それなりに余裕を持って行動できたと感じます。最終日、撤収時刻を考えてフライト終了。あまりよい気象状況ではありませんでしたがもっと飛べたでしょう。ということで、それなりにゆとりと自信のフライトができつつあります。獲得高度 1,000m が達成できました。さらにシルバーをめざします。

皆様のご支援に感謝いたします。

さて DAY1（休憩・後述）の件。体調管理のことです。

いわゆる疲れからくるもの。そしてメンタルの不調について。シドニーへのフライトは、どの航空会社を使っても夜行便です。去年は直ちに DAY1 のフライトでしたが、今年は休憩。シドニーへの機内は暑かった。冬衣装は機内で夏衣装に着替えましたが。シドニー空港乗り換え時間 4 時間弱。大きな空間なのに空調が効いている。地元人は平気な顔。寝不足の身にはつらい。ということで、今日のフライトは止めることに。古来稀なりを超えたのは、すでに過去。干支も回って 7 回目ともなれば体調管理は万全でも、その場、その場で判断することが必須。他に迷惑をかけないためにも。

メンタルの不調とは。岡潔（数学者）さんの著書「春宵十話」であったか「紫の火花」にありました。よい仕事ができる時は、体は疲れていても頭の回転はしっかり回る。頭の回転が悪い時はフィジカルな体調も悪い。おおざっぱに言うところこういう感じのことです。今回は疲れだけではなく、なんとなくこういう感じがありました。それで休憩をしたわけです。

「日本の生活」を「ナロマインの生活」にスムーズに切り替える。KADZ さんは、ヴェトナム経由でヴェトナム見物をしてからのナロマイン入りでした。リタイア人間でも、生活の切り替えは意義があるということでしょう。

皆さん、来年もよろしく願いいたします。

Kadz

連日天候に恵まれ充実したフライトの日々でした。ただ日焼け止めを忘れたのでアットというまにボロボロになってしまいました。また昨年より気温湿度ともに高い感じで、水分補給が 2 倍程度でした。期待通りに心身ともに健康にリフレッシュだけでなく、フライトのほうも 8 時間以上、複座も加えると昨年と同じ計 10 時間飛べてハッピーでした。

離着陸が課題でしたが終盤の 3 日は、余裕をもって安定してきたと思います。これも Shinzo さんのご指導よるところです。これらは注意や日頃の会話から得られるヒン

トを自分のものにしていくものですが、まだまだ自分では気づかないヒントが多くあると思えるのが残念。

フライトでは 3/13 は条件もよく、離脱後一気に 8000ft 以上まで上昇、Dubbo や Trangie の見え方が 6000ft とは異なる点も実感できました。北方向の 10km/15km を確認し、2 時間を超えて 17 時近くなったので余裕をもってきれいなアプローチ、着陸を心がけて終えました。

空(昼も夜も)や空気や日光といった自然と Narenkai メンバーに恵まれ、個々の目標を持って楽しめます。体力や視力を維持して次回をいまから楽しみにしているところです。

皆さんもぜひ参加してみませんか。

Chiaki

今回初めて Narenkai に参加させて頂きました。

3月10日到着で13日発というタイトなスケジュールでしたが大変楽しみました。11日に、Shinzo さん秘蔵の Nimbus4DM に登場しました。もちろん私は後席で Shinzo さんの秘儀を観察しているのが主なタスクでしたが、一部操縦もさせて頂きました。

モーターグライダーの登場が初体験なので、Nimbus の離陸および上昇は、” 煩いくせになかなか上昇しない ” といった印象でした。エンジンを止めないうちに Shinzo さんがサーマリングを開始したので、” なるほど、リトラクタブルのモグラはこうやって上昇するんだ！ ” と勝手に理解しました。以前からの思い込みは、動力で十分上がってからソアリングに切り替える、という

ものでしたが、実は違うのね。こう書くと、なんだか Nimbus に否定的な書きぶりですが、真意は全く逆で、やはり自力発行は素敵だな！というのが偽らざる感想です。いや本当。

オープンクラスというと、スパンが大きいのでロールさせにくいのではないかという先入観がありますが、これは間違いですね。確かに積分的な挙動はありますが、結構クイックにロールしてくれます。Shinzo さんが操縦すると、スコンと軽やかにハイバンクに入るので、上手い人には全く違和感ないのでしょう。

一方、ラダーは不思議なぐらい重く、おそらく IUL の 10 倍ぐらい重いのではないのでしょうか？効きが悪いのではなく、重いのはちょっと不思議な感じがします。

L/D の高さを実感したのは、トランギの辺りから入ったファイナルグライドで、かなり飛ばしましたが、ちゃんと帰ってきました。このあたりはさすがだと思います。

いずれにせよ、オープンクラスの機体に登場するなど、めったにできない体験なので大変参考になりました。

それと、今回は Shinzo さんの操縦をじっくり観察するチャンスがあったので、自分の判断と Shinzo さんの選択にどのような異差があるか、確認できました。結論は、Chiaki はちよとリフトがあると軽挙妄動で回り始めるが、Shinzo さんはきちんとサーマルをサーチしてから回り始める、というのが大きな違い、ということです。Shinzo さん曰く、「Chiaki はサーマルの縁で回っている」、ごもつともです...

話は変わりました、残りの日はグランドサービスを楽しみました。それと、Nob さん、Kadz さん、Hiroshi さんと御一緒できて、大変楽しかったです。皆さん大先輩なので私のような若輩者が御一緒させて頂くのはおこがましいのですが、フレンドリーにして頂いて本当にありがとうございます。

次回は、きちんと減量してから参加させていただきますので、よろしく願いいたします。それと、Hiroshi さん、Narenkai アメリカ編の計画も、Shinzo さんの御指導の下、策定したいと思いますので、よろしく願いいたします。

Hiroshi

今年で3回目の Narenkai 参加となりました。最初はナロマインにいることだけでストレス解消になっていました。Discus が帰ってくるのを2、3時間待っている時も、ナロマインではとても楽しくリラックスできる時間でした。

また、Shinzo ゲストハウスでビールを飲みながら、様々な分野で活躍している方々との会話は、大変楽しく時間が経つのを忘れます。会話の中で Shinzo さんは、日常の中にも飛ぶこととの関連を見つけ出し、次に飛ぶ時のヒントとなるアドバイスをくれます。教えることを仕事としている身として、とても参考になります（実践は難しいですが）。

1回目で20年ぶりにソロに出て、2回目ではあこがれのスタンダードクラス Discus でソアリング、回を重ねるごとに飛ぶことに欲が出てきました。3回目の今回は、5日間という短期間でしたが、目標はシルバー（5時間、50Km）です。

結果は、2日目から Discus でフライト、最長フライト4時間14分、距離はトライしませんでした。40km程度でした。総飛行時間は5日間で10時間強でした。目標は達成できませんでしたが、ナロマインの5日間はリラックスし、充実した時間を過ごすことができ、大満足です。

皆さんも、ぜひ来年はご一緒しましょう。短い期間でも十分楽しむことができます。

追伸：先輩の市川博一さんがグライダーに復帰され、メーリングリストに「3月23日(日)は板倉で、ARCUS-Tによりコンバージェンスで飛んでいるうちにウェーブも出てきて、548km飛んでしまいました。」という投稿がありました（投稿の趣旨は高々度飛行の危険性ですが）。今の私には想像もできない飛行ですが、こんなことができ

るグライダーは、ほんとうにすごいと思いました。博一さん一度、ご一緒させていただき経験させてくださいね。

